

京都市会

市政Hotニュース

日本共産党京都市会議員団

<http://cpgkyoto.jp>

2021年12月17日

TEL

222-3728

FAX

211-2130

E-mail

info@cpgkyoto.jp

子育て世帯への臨時特別給付

10万円を

現金で全額一括給付へ

市民の声が市政を
動かしています

日本共産党市議団は動議を提出
予算を組み替えて
現金給付とするよう提案！

11月市会で、「子育て世帯への臨時特別給付」の一人あたり10万円を、児童手当対象相当の子育て世帯に給付する件については、当初、市長は「5万円を現金で、5万円は電子クーポンで支給する」と、国いいなりの姿勢でした。

国が、自治体や野党からの批判の前に「条件をつけず現金給付も可能」と方針を変更したことを受け、市長は、12月14日夕方「10万円を現金で一括支給する」「中学生以下は12月23日に支給(振り込み)、高校生世代も1月のできるだけ早い時期に申請書類を送付し、一括現金支給」と表明。補正予算議決後に異例の方針転換となりました。

市民の切実な声と、共産党の提案が京都市を動かしています。

今議会では、来年4月の保育料の値上げを見送り。保育士配置基準と加配も維持することが明らかにされました。

市会に提案された補正予算では、190億円のうち事務費を10億円も計上。現金給付に1.5億円、クーポンには8.5億円もかかるとしていました。全額を現金で一括給付すれば、大幅に事務費も節約でき、市民にも喜ばれます。

日本共産党議員は動議を提出し、「速やかに全額を現金で給付する」「クーポンにかかる事務費を削減する」よう予算の組み替えを求めました。

討論で「支援金は子育て世帯への大きな激励になる」と述べた上で、クーポンについて、国も「地方自治体の実情に応じて全額現金給付も可能」としている指摘。市長に対し、全額を現金で支給すること、国に働きかけることを求めました。

民主・市民フォーラム議員は「できれば現金で」維新議員も「クーポンは時間もコストもかかる」と発言しましたが、動議には、自民・公明・民フ・京都・維新の会派が反対しました。